

医療法人社団 健歯会

# 吉原歯科医院

口腔ケア&口腔リハビリテーションで

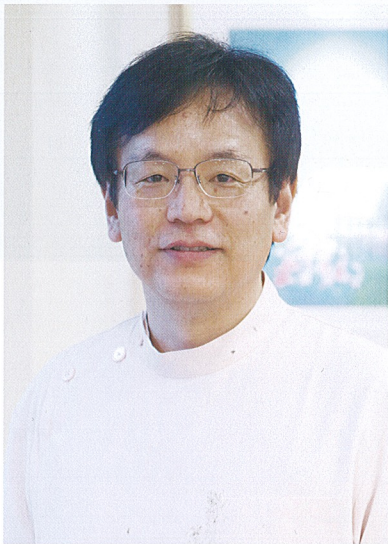
## 「食べる喜びと、人の尊厳を守りたい」

**Top** どこまでも「患者思考」  
日本の名医  
**Interview**



### 口腔機能の向上で 食べる喜びを

これまでさまざまな検査を受けてきていても、歯科医院で食事の様子をつぶさに観察されたという経験をした人は少ないのではないかと。吉原正明院長は治療の際、必要に応じて患者に目の前で食べてもらい、摂食・嚥下をチェックするという。食べ物をかみ砕き、すり潰し、飲み込む動作の一部分を、歯は担っているに過ぎない。人は唇、頬、顎、舌を総動員して食べる。訪問歯科診療で、自力で食べられないお年寄りを何とか食べられるようにと努めてきた経験は、吉原院長の関心をパーツとしての歯から、食べるという行為へ、さらには、食べることから生まれ



### 院長 吉原 正明

よしはら・まさあき●1959年広島県生まれ。86年日本大学松戸歯学部卒業。シツキ歯科勤務を経て、90年吉原歯科医院を開業、91年医療法人社団健歯会吉原歯科医院とする。92年から訪問歯科診療を開始



調度品に工夫をこらした院内でできたオムライスもその一つ(写真)

る喜びや人の尊厳へと広がっていった。吉原院長はいう。「不思議なもので、食べられないと思われていた高齢の患者さんも、入れ歯を作り、その人の好物を食べてもらおうと、口を動かして上手に召し上がることが多いのです。『ありがとう』と、にっこり微笑まれ……。そういう情景を思い出すと、目頭が熱くなります」

### 口腔ケアの延長にある 口腔リハビリテーション

吉原歯科医院は、1992年から訪問歯科診療を実施している。通院の場合と同様に、入れ歯、抜歯、被せ物、ブリッジにも対応しつつ、とりわけ口腔ケアを重視する。高齢者の場合、口腔内の細菌が誤って気道に入ることで誤嚥性肺炎という危険な病気を引き起こすことが、広く知られるよう

になりつつある。いち早く口腔ケアに取り組んできた吉原院長は、さらなる課題として、口腔リハビリテーション(食支援)を挙げる。

食事の際、舌はちようど臼と杵でお餅をつくように食べ物を口の中でこねくりまわして食塊を作る。ペースト状の食事なら前後運動で足りるが、普通食を飲み込むには上下・左右にこねるような複雑な動きが不可欠だ。高齢者になると、この上下・左右に動かす能力が衰えがちだという。

「最後まで諦めず、自分の口で食事をする喜びを感じていただきたいと思っています。そのためには、スプーン一杯の水でもよいので、自分の口を使っていただくことが大切です。訪問歯科診療ではドクターだけでなく、口腔ケアを指導しているス

歯科医院に来ているとは思えないような、ゆとりと寛げる待合室



タッフに対して患者さんから直接感謝の気持ちも伝えられます。それだけに、やりがいも大きく、スタッフの人的成長にもつながっています。これからもスタッフと共に地域のホームドクターを目指して取り組んで参ります」と吉原院長は話した。取材/斉藤雅幸



キュア(治療)スペースから独立した、ケアのためのスペース。壁やシートの色使いにもこだわり、癒しの空間を作っている

### information

#### 医療法人社団 健歯会 吉原歯科医院

併設：さんだ口腔介護支援センター

診療科目：歯科、小児歯科、矯正歯科

診療時間：月・火・木 9:30~12:30/14:00~19:30  
水 9:30~12:30  
土 9:30~12:30/14:00~17:00

休診日：水午後・日・祝

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1-11

フラワータウン駅ビル 705号

TEL.079-562-8471 FAX.079-562-8472

http://www.yoshihara-shika.jp/